

無所属38歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索
住所 野比2-13-18
Fax 046-801-2177
移動事務所 ☎070-6640-3927
✉ info@kobayashinobuyuki.com
Web http://kobayashinobuyuki.com
野比在住。1975年(昭和50年)9月3日生。
筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサル
ティングに携わるが、地域の疲弊と日本の
将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験
合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市
長)公設秘書として修行し、2011年4月より
横須賀市議会議員。地域通貨イタチ事
務局長など、市民活動にも関わる。

第一特集

議員報酬は高すぎる？

議員定数も議員報酬も、県内No.1!

このままでいいの？ 横須賀市議会。

市町村	人口	定数	報酬 月額
藤沢市	418,267	36	565,000
横須賀市	409,576	41	646,000
鎌倉市	173,483	26	459,840
逗子市	57,860	20	439,000
三浦市	46,299	15	442,000
葉山町	32,565	14	390,000

第二特集

議員の仕事は何なのか？

第一特集 議員報酬は高すぎる？

議員定数も議員報酬も、県内No.1!

よく、「議員が多すぎるんじゃないの?」「議員は給料もらいすぎだよ」と言われます。横須賀市議会は41名、議員報酬は月額646,000円。どちらも県内の一般市町村で第1位。^{*1} 全国的にも、右グラフの通り確かに多くて高いほうで、年額ではボーナスを含め1089万円です。

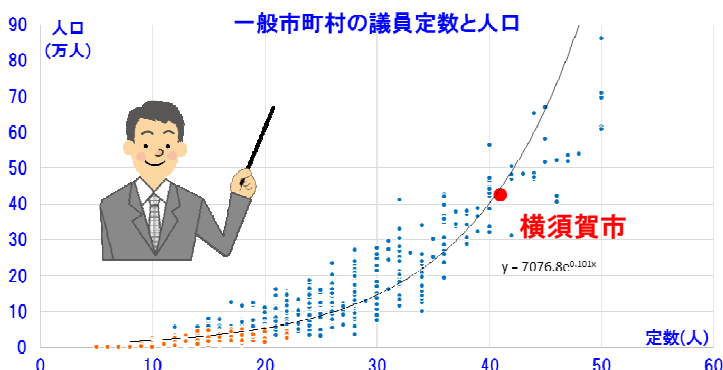
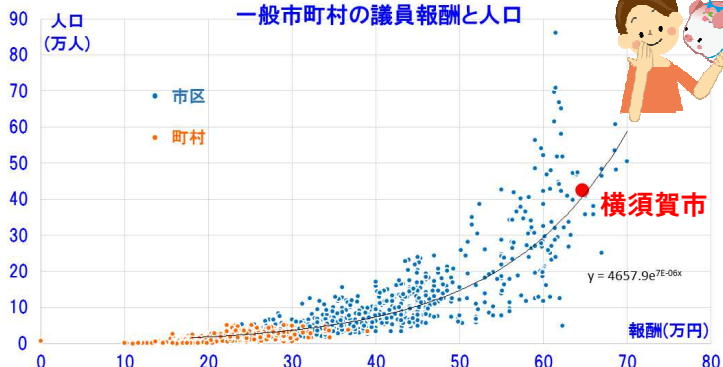
県内の議員定数と議員報酬

ただし、市町村の大きさは人口・面積など全然違います。そのため、議員の数や報酬は、多くの市町村が主に人口を参考にして決めているようです。ただし、人口あたりで比べてみると、実は定数も報酬も横須賀はむしろ少ないほうですね。

とはいえ、横須賀では定数を「人口1万人に1人」を目安にしたらしいですが、人口で抜かれた藤沢市よりも多くて高い。

^{*1}: 一般市町村には、県並みの権限を持つ政令指定都市(横浜市、川崎市、相模原市)は含まれない。

市町村	人口	定数	当り 万人 数人	月報 報酬	当り 万人 額人
横浜市	3,703,852	86	0.23	953,000	2,573
川崎市	1,449,944	60	0.41	830,000	5,724
相模原市	721,221	49	0.68	670,000	9,290
藤沢市	418,267	36	0.86	565,000	13,508
横須賀市	409,576	41	1.00	646,000	15,772
平塚市	258,120	30	1.16	502,000	19,448
茅ヶ崎市	237,346	28	1.18	453,000	19,086
大和市	231,876	28	1.21	439,000	18,933
厚木市	224,955	28	1.24	452,000	20,093
小田原市	196,075	28	1.43	475,000	24,225
鎌倉市	173,483	26	1.50	459,840	26,506
秦野市	169,370	24	1.42	433,000	25,565
座間市	129,645	23	1.77	404,000	31,162
海老名市	129,115	22	1.70	422,000	32,684
伊勢原市	100,955	21	2.08	421,950	41,796
綾瀬市	83,924	21	2.50	398,000	47,424
逗子市	57,860	20	3.46	439,000	75,873
寒川町	47,474	18	3.79	339,000	71,408
三浦市	46,299	15	3.24	442,000	95,466
南足柄市	43,571	16	3.67	338,000	77,575
愛川町	40,878	16	3.91	340,000	83,174
葉山町	32,565	14	4.30	390,000	119,760
大磯町	32,484	14	4.31	315,000	96,971
二宮町	28,968	14	4.83	283,000	97,694
湯河原町	26,035	14	5.38	320,000	122,911
大井町	17,356	16	9.22	257,000	148,076
開成町	16,766	12	7.16	260,000	155,076
箱根町	13,238	15	11.33	306,000	231,153
松田町	11,393	12	10.53	250,000	219,433
山北町	11,084	14	12.63	255,000	230,061
中井町	9,797	14	14.29	254,000	259,263
真鶴町	7,684	12	15.62	242,000	314,940
清川村	3,297	10	30.33	246,000	746,133



このままでいいの？ 横須賀市議会。

とはいえ、議員の数や報酬は、人口を目安に決めて本当にいいんでしょうか? 「議員は何をする人か?」「それには何人必要なのか?」という、仕事の

中身も考えたほうがいい気がします。その意味で言えば、大きい市と小さい町で、議員の役目がそんなに違うわけじゃない。必要な人数が大きく変わってくるとも思えない。そう考えると横須賀の議員の数や報酬は仕事に見合っているのか?

ちなみに現在、財源不足で職員3%~市長15%の給与減額(9か月)をしています。議員はそのままでした。定数のほうは市議会でも論議が始まりましたが、今のままでいいんでしょうか?

一人口は「神奈川県人口統計調査結果」平成25年12月1日現在。

定数と報酬は平成24年12月31日現在。



市民を襲う「値上げラッシュ」

これから、税金などの値上げが、みなさんに怒涛のように押し寄せることをご存じでしょうか？

国では、4月の消費税率8%化。横須賀では①昨年から国民健康保険料が平均12.3%値上げ、②偽装「復興増税」で今年から市民税・県民税が各500円値上げ(チラシ11号参照)、③介護保険料の見直しも控えています。さらに、④今年10月からの下水道料金の一律17%値上げも決定しました。まさに、「値上げラッシュ」です。

誰が値上げを決めたのか？

これらの値上げを、最終的に決めるのは市民代表である市議会です(消費税率は国会、県民税は県会)。ところで、市民に負担増をお願いするのに、「この値上げで本当にいいのか？」という議論は十分だったのか？

今回の下水道料金の場合、母子家庭や独居老人などの水をあまり使わない世帯でも、月に10tも使わないのに10t分の料金を払って来ました。また、一般家庭が107円～/1tのところ、水をたくさん使う工場などは369円/1tもとられていました。そこへ一律17%の値上げをしいいいのか？

値上げが不可避なら「どういう層にどの位負担してもらうか？ あるべき料金体系は？」を議員こそ考えるべきです。しかし、私が用意した使用量別の負担額のシミュレーション結果は、参考資料としての配布も認められなかった。企業が商品を値上げするとなったら、綿密に調査して入念に検討するはずで

議員は経営をしているのか？

市民の代表として選ばれる議員は、会社でいえば株主に選ばれる取締役にあたります*1。取締役ならば、様々な情報を総合して密な議論をし、高度な経営判断を下すわけですから、高給とりでも文句は出ません。ちなみに横須賀ゆかりの大企業の場合、東芝が取締役17人で平均報酬約1700万円*2、日産が取締役10人で平均報酬約1億9400万円*3。企業は役員を減らして報酬を増やす傾向ですね。

民間企業の取締役のような議論をしっかりとるなら、議員報酬は高くていいと思います。でも、人数はもっと減らしてもいいかもしれませんね。

逆に、市の提案がいいか悪いか、市民代表として最終的に議決するだけならば、福島県矢祭町のように一日3万円の日当制でもいいと思います。その場合、いろんな視点があつた方がいいので、人数はむしろ増やしてもいいかもしれません。

*1:市町村の場合、株主が市民なら、お客さんも市民。なので、より正確には生命保険会社(相互会社)や生協(協同組合)に近い組織で、議員は株主代表&消費者代表というイメージ。
*2:東芝「アニュアルレポート2013」より。取締役には社外取締役6名を含む。
*3:日産自動車「有価証券報告書」より。取締役には社外取締役1名を含むが、平均報酬には含まず9名の平均。

「議員なんていない」と言われたいために

従来は市が出したものを「いい」「悪い」と議決することが議会の主な仕事でした。先進的だと言われる横須賀市議会は、その面ではしっかりやってきた。しかし、右肩下がり時代には「あれかこれか」の難しい合意形成を迫られます。今後は「株式会社横須賀」の経営者として、もっと議員同士の議論が必要だと思います。「議員なんていない」と言われたいから。

いまこそ、地方議会のあり方を考える

講演「市議会って何だろう？」

「市議会議員が多すぎるのでは？」
「議員報酬が高すぎるんじゃないか？」
「議員が何やっているか、全然見えない」
「議会と市長が対立ばかりしてる」

こうした疑問にお応えします！ そもそも市議会って何なのか？ 議員って何をやる人なのか？

今回は、地方自治制度について小林が最も多くを学んだ先輩、菅原直敏さんをお招きし、解説して頂きます。

●日 時：2014年4月19日(土)13:30～16:00

●場 所：産業交流プラザ 第二研修室

●資料代：100円 ●申込み：不要

1978年生。上智大法卒。国内から海外まで200以上の自治体を踏査し、地方自治に深い造詣を持つ一方、市議・県議として自ら実践してきた。第5回マニフェスト大賞でも最優秀政策提言賞を受賞し、講演等も多数。著書に『何故、地方議会議員年金制度は廃止すべきか』

菅原直敏氏



応援してください！

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思っ下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

必ず私、小林伸行が自分で目を通します！

小林のぶゆきの基本政策

見える 誰が何をどう決めているのか
ぜんぜん見えない……。市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる 難しい説明をされてもよくわからない……。いま何が問題なのか。いま何が重要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

